学級活動（人権）学習指導案

１　主　　題　　認め合い支え合う仲間づくり

２　主題設定の理由（省略）

３　ねらい

いじめはかけがえのない命までも奪う，重大な人権侵害であることを認識させ，互いを認め支え合い，いじめに立ち向かう学級集団をめざして自ら行動しようとする意欲と実践力を育てる。

４　指導計画

いじめって何？（学級活動）　２時間
「いじめについて考えよう」,「大切なことは」
・いじめを取り巻く人間関係やその構造について理解させる。
・人にされて嫌なことは人それぞれ違う場合があり，それらは全ていじめにつながることを意識し，互いの違いを認め合う人間関係を築こうとする意識を高める。

自分自身を磨く（道徳）　１時間
「自分以下を求める心」（わたしの願い）
・自分自身を見つめ直し，自分自身にとって人間としてすばらしい生き方とはどのようなものかを考える。

いじめについて考える「いじめをノックアウト」（NHK）
（学級活動）２時間
「その“いじり”，大丈夫？」
「“いじめたい気持ち”ってどこから？」
・ＤＶＤを視聴し，身近なことからいじめは発生することを知り，身の回りのいじめの発生防止とその発生を見抜く力を養う。

いじめの現状（学級活動）　２時間
「どうして？」
「“空気”よめと言われても…」
「LINE で炎上！どう止める？」
・身近に起こりうるネットトラブルを通して，課題解決に主体的に取り組もうとする態度を育てる。

勇気について考える
（学級活動）１時間
「ちっぽけな勇気」
・自分に必要な勇気について考え，それを実践していく気持ちを育てる。

「障がい者スポーツ
『ボッチャ』人権教室」
（総合的な学習の時間）
１時間
・ボッチャ体験を通して人権について考える。

出会う・つながるプログラム
鳴門教育大学との連携
（学級活動・朝活動）月１回
「足し算トーキング」
「自己表現個人ワーク」など
・自尊感情の育成とよりよい人関係づくりをめざす。

松中夢いっぱいプロジェクト
（学級活動）８時間
「ハートフル作戦」（２時間）
「文化祭学年合唱」（６時間）
・学校行事を通して，互いを認め合い，自尊感情を育てる。

いじめについて読んで考える（朝活動）「いじめと君」（朝日新聞）週１回

仲間と共に生きていく（道徳・学級活動）　４時間
「心やさしい子どもたちへ」（わたしの願い）　（２時間）
「松本君への手紙」（キラリ☆道徳）　（２時間）（本時２／２時間）
・一人一人がかけがえのない大切な存在であることに気付かせる。
・いじめの解決に主体的に取り組もうとする態度を育てる。

これから…（学級活動）
１時間
「わたしの行動宣言」
・いじめの防止，解決のために，自分ができることを宣言し実行する意識をもたせる。

５　本時の学習

（１）目　標

自分の問題として考え行動することが，いじめの解決につながることを理解させるとともに，いじめをなくしていくために正しく判断し，自ら行動しようとする意欲を高める。

（２）普遍的な学習のテーマ　　認め合い支え合う仲間づくり
個別人権題名　　いじめ

（３）展　開

学　習　活　動	指導上の留意点
１　前時の学習を振り返る。	○前時で学んだことを確認させる。 ○前時に確認した池田君の気持ちを振り返らせる。
２　なぜ，松本君へ手紙を書いたのか，その気持ちを考える。	○自分が変わるきっかけを松本君の行動からつかんだことに気付かせる。 ○自分の問題として考え行動することが，いじめの解決につながることを理解させる。　①
３　松本君に対して手紙を書く。	○手紙の中で，これからの自分の決意を書かせ，いじめの解決に向けて自ら行動しようとする意欲を高める。　②
４　これからの自分の生活について話し合う。	○いじめを自分の問題としてとらえ，これからの自分の決意，行動について発表し，いじめ防止に向けた行動への意欲を高める。　②③

（４）評　価

・自分の問題として考え行動することが，いじめの解決につながることが理解できたか。
（知識的側面）①

・いじめをなくしていくために正しく判断し自ら行動しようとする意欲を高めることができたか。
（価値的・態度的側面）②

・友達の発言を受け止め，自分の考えや思いを伝えることができたか。　（技能的側面）③